

# 寺田ガーデン リハビリ通信

## ～改善事例 楽しくお話したい～

80歳代女性 要介護3 週3回1日利用

<言語聴覚士のリハビリ>

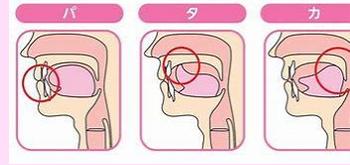
### お困りごと

- ・心原性脳塞栓症を発症され話しにくさ発音のしにくさがあり、自分の思いが伝えられない
- ・伝わらないことで自分も話し相手にもストレスがかかり気分が落ち込む。

### リハビリ評価

<発音の検査> オーラルディアドコキネシス

- 「パ」、「タ」、「カ」それぞれの音を5秒間でなるべく早く繰り返し、**口周りや舌の動き**を測定。**発音の回数**、**リズムの良さ**等を評価する。



	基準値 (1秒間の回数)	(本人の結果)
パ(口唇を使う音)	4.2回	2.4回 ↓
タ(舌前方を使う音)	4.4回	2.2回 ↓
カ(舌奥を使う音)	4.1回	2.0回 ↓

- ・ゆっくりした速度の会話だが、途中で速度やリズムが乱れる
- ・パ行、タ行、カの音が特に不明瞭になる(口唇・舌を使う音)
- ・会話が長くなるとより顕著となる

➡ **舌・口唇の筋力UP**  
**短い言葉をはっきりと区切り、発音**できる必要がある

### リハビリの実施

- ・お口の体操指導 (口唇周囲、舌の運動中心)
- ・短い文章の音読 (短く区切って読むことではっきりとした発音を意識)
- ・お口の体操と文章の音読プリントをお渡しし、ご家庭で娘様と実施

べー

いー

やみよの  
やまゆり  
やいゆえよ

### 成果 (1か月後)

<発音の検査> オーラルディアドコキネシス 再検査

	前回	一か月後
パ(口唇を使う音)	2.4回	3.6回 ×1.5倍
タ(舌前方を使う音)	2.2回	3.0回 ×1.3倍
カ(舌奥を使う音)	2.0回	2.8回 ×1.4倍

- ・全ての項目で発音回数が増え、**リズムの乱れも減少**。特に**口唇周りの動きが向上**。
- ⇒「ひまわり」「やまゆり」等、**口唇を閉じる音(マ行等)**が語中に入る言葉が**ハッキリと**言えるようになった。短く言葉を区切ることで**ストレスのない会話**が可能となった

言語訓練をして帰った日は、**話が聞き取りやすいと娘たちも喜んで**います。自信を持てたことで、**諦めずに口を動かし、声を出そうと前向きに頑張**られています。ストレスも減り**会話が楽しく**なりました。毎日の自主トレーニングをこれからも**続けて**いきたいです。